

中高一貫校の設置、どう取り組むのか

新風会 岡田康弘



質問 ↓中高一貫校の設置について今後どのように取り組むのか、課題解決に向けた県教委への働きかけは。定時制高校の設置ではどのようなスタンスで対応するのか。

答弁 ↓中高一貫校はメリット、デメリットがあるため、懸念される課題ができるだけ改善されるよう県教委と連携していきたい。設置に伴う地域の中学校への影響について県教委は十分理解していると考え、今後開かれる説明会で改善方針が示されると期待する。教育内容や特色は計画決定以降に検討される予定で、市の教育向上につながる学校となるよう働きかけていきたい。定時制高校はできるだけ早期の設置を要望する。すべての子どもにも義務教育化している高校教育の機会を保障しなければならぬと考える。

土地開発公社解散は

★新政クラブ 森西順次



質問 ↓土地開発公社解散プラン実施に伴う財政負担の軽減策は。三セク債償還期間はいつまでに調整でき、どんな見通しなのか。津山産業・流通センター内の鏡野町分の宅盤の売却見通しは。

答弁 ↓津山産業・流通センター用地の分譲は、三セク債の起債前であれば起債額の圧縮につながり、土地開発公社解散後の場合は、制度上、繰上償還に充てるよう指摘されている。三セク債の協議は、起債額11.5億円、30年償還を基本シナリオに、可能な限り長期化を要請中である。25年度に起債して負債を清算した後、土地開発公社を解散する。鏡野町分の宅盤の未分譲区画約1.5ヘクタールについては、同町に約2億4千万円で取得を依頼しており、町議会の同意が前提であるが取得の方向で調整中との報告を受けている。

安心と誇りをもてる子育て支援を

★市民と歩む会 黒見節子



質問 ↓病児、病後児保育の状況は。
答弁 ↓二宮の医療機関で実施。年間700人が利用。市内東部への新設については医師会等関係機関と協議していく。
質問 ↓幼稚園の預かり保育は。

答弁 ↓東、鶴山、加茂幼稚園で実施。利用者は年間約3,800人。
質問 ↓津山市教育振興基本計画検討委員会で出た「津山らしさ」とは。
答弁 ↓自分で勉強をしようとする自主性・向上心や努力の気風。
質問 ↓学力の点数だけでなく教職員や保護者が誇りをもてる提案は。
答弁 ↓地域の行事によく参加したり図書館に通う子どもが多い。人と人とのつながりを大事に地域で愛される子どもを育てていきたい。
質問 ↓小・中学校連携事業は。
答弁 ↓情報交換、授業参観、出前授業など、8中学校区で実施。

防災ラジオを設置する考えは

新風会 松本義隆



質問 ↓通学区域の弾力化に早急な対応が必要と考えるが、なぜ凍結解除できないのか。

答弁 ↓学校間での学力格差や地域コミュニティの崩壊につながりかねない

どの理由から、解除できないと考えるが、社会情勢などが変化し、児童生徒の分布に変化もあり、中期を見通した小・中学校のあり方を検討したい。
質問 ↓災害発生時の情報伝達手段は。
答弁 ↓情報伝達手段は喫緊の課題であり、FMラジオの導入は有効な手段として、実現できるよう努力したい。
質問 ↓防災ラジオを町内単位あるいは公共施設などに設置する考えは。
答弁 ↓FM放送事業者と連携して施設や町内会への設置も含め検討する。